

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

50代の方のトラブルを抱えやすい肌の正しいスキンケア

保湿スキンケアの本質とは、「一時的に肌を潤すだけ」のスキンケアです。では、保湿スキンケアで、美しい素肌や皮膚老化、他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌など、「なりたい肌」の実現は可能なのでしょうか。50代の方の肌の特徴を知れば、無理なことが理解できます。

トラブルを抱えやすい50代の方の肌の特徴：

1. 炎症と乾燥：年齢を重ねると、ホメオスタシスとターンオーバーの連携がうまくいかず、皮膚バリア力が低下します。これにより、炎症が起こりやすくなります。皮膚バリア力が低下すると、角質層の水分保持力も落ち、肌が乾燥しやすくなります。
2. シミやくすみ：年齢を重ねると、ホメオスタシスとターンオーバーの連携がうまくいかず、メラニンや過酸化脂質を含む古い角質が剥がれ落ちずに定着しやすくなり、角質肥厚を起こします。これにより、紫外線の影響で活性酸素が発生するのを防ぎますが、ストレスによる活性酸素の発生は防ぎようがありません。結果として、メラニンや過酸化脂質を含む古い角質が剥がれ落ちずに定着しやすくなり、これがシミやくすみの原因となります。
3. たるみ：年齢を重ねると、また保湿スキンケアの影響で皮膚バリア力が弱くなると、紫外線の侵入やストレスによって活性酸素が増えます。これにより、真皮の線維芽細胞の機能が衰え、コラーゲンやエラスチンが減少し、肌の弾力が失われ、たるみが目立つようになります。
4. シワ：年齢を重ねると、また保湿スキンケアの影響で皮膚バリア力が弱くなると、紫外線の侵入やストレスによって活性酸素が増えます。これにより、角質の水分保持力が低下し、乾燥による細かいシワが増えます。さらに、真皮の線維芽細胞の機能が衰え、コラーゲンやエラスチンが減少し、肌の弾力が失われることで、深いシワが増えることがあります。

このような肌の特徴を持った50代の方が、美しい素肌や皮膚老化、他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌の実現を望んでも、単に「肌を潤す」だけの保湿スキンケア「洗顔後に化粧水・乳液・クリーム」は、却って、「なりたい肌」の実現を妨げる原因となっていることをまず理解することです。ほとんどの方が行うこの保湿スキンケアの本質は、「一時的に肌を潤すだけ」ということを理解していません。

リノール酸を含む合成界面活性剤を使用しないエマルジョン化粧品「海森水」で、洗顔後に皮膚バリアを強化し、美しい素肌や皮膚老化、他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌の実現を図るのが正しいスキンケアです。その他に、規則正しい生活習慣、特に、ストレスを減らすこと、十分な睡眠、バランスの取れた食事は重要です。